

宮私幼PTAだより

第 83 号

行 者 連 合 会
宮 私 幼 P T A 美 者 連 合 会
(会 長 編 集 委 員 会)
広 報 報 告 員 会
事 務 局 青 葉 区 分 町 三 丁
仙 台 市 青 葉 区 分 町 三 丁
目 6 - 1 2 佐 正 第 二 ビ ル 6 F
電 話 (0 2 2) 2 6 3 - 7 0 4 0 番



**子ども達を励まし
やる気を興す言葉**

会長 **渥美 巖**

草木もようやく冬の眠りから覚め、生命の息吹が感じられる季節となり、年長児（五歳児）のご家庭では卒園や小学校の入学準備等、何かと忙しい日々を送っているのではないかと思います。

東日本大震災から間もなく三年になり、沿岸被災地では一歩ずつ復興に向かっております。平成二十六年度は「宮城県震災復興計画」における「再生期」四年のスタートの年であり、復興事業も本格的に始まり復興の姿や形が見えてくるものと期待しております。

昨年は東北楽天ゴールデンイーグルスが、シーズン前の野球評論家の予想を覆し、球団創設九年目にして「日本一」に輝き、被災地の人々に勇気と希望・感動を与えてくれました。東北に元気を与えたいという選手と、ファンの熱い声援が選手を奮い立たせ、相乗効果を生んだ結果だと思えます。

先日、日本ハットパーク普及協会長の岩崎由純氏の話を聞く機会

がありました。「ハットパーク」とは、スポーツ選手を励ますのに指導者やリーダーが試合前に使う「短い激励のメッセージ」のことで、「短くて」「わかりやすく」「肯定的な」「人を勇気づける」言葉がけであります。お父さんやお母さんが、「あきらめやすく、ダメね、無理だね」との消極的・否定的なネガティブの言葉でなく、積極的、明白な、肯定的なポジティブな言葉で、「できる・できる・必ずできる」と子どもを励ます言葉や、やる気を興す前向きな背中をひと押しする言葉をかけることが、子どもにとって大きな力になるということです。

一月十四日、宮城県私立幼稚園連合会の村山理事長と共に、「全国四十二位という私立幼稚園運営費補助金順位」を、宮城県の各種統計全国順位や県の財政力に相応しい順位に引き上げてほしいと、村井知事に要望しました。村井知事の英断に期待したいと思います。



**宮私幼PTA連合会の一年を振り返って
「研修や活動とチームワーク」**



副会長 **霜山 加奈子**
岩沼さくら幼稚園（P）

平成二十五年五月、岩沼さくら幼稚園PTA総会にて、会長をお引き受けすることになり、本年度は名取・岩沼・山元地区の当番園としても活動することになりました。

八月には、宮私幼連合会から宮城県知事に、陳情。
十月には、宮私幼PTA連合会親善バレーボール大会で開会の言葉を述べて来ました。

六月、宮私幼PTA連合会総会に出席したところ、副会長という役を園の会長と重ねてお引き受けすることになりました。
七月には、宮私幼教育振興大会にて、各関係機関の支援を求める大会宣言を宣誓させていただきました。

十一月には、地区当番園として研修会を開催しました。企画の段階で趣味で始めたレザークラフトを研修会で講習して欲しいとお話をいただき、夏から準備をしてきました。ご参加いただいた各幼稚園の皆さんに、レザークラフトを通して、親睦を深めていただければと思います、当日まで当園の役員も試行錯誤を繰り返して、練習を重ねて来ました。その結果、日々の子育ての中では味わえない達成感や普段あまり関わる事のない他園の保護者との交流をもて、楽しい時間を過ごせたなど沢山のお声をいただきました。

一年を通して総会から始まり、副会長としてさまざまな行事に参加させていただき、貴重な経験と共に自分も成長する機会を与えていただきました。とても忙しい日々ではありましたが、充実した一年を送ることが出来ました。全てが初めてのことがばかりで、不安や緊張もありましたが、園長

先生、先生方のご指導の下、当園の役員の方々にも沢山のご協力をいただいたお陰で、この様な大役を無事に果たすことが出来ようとしています。
役員をするにあたり、ご尽力下さった皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。
今後引き続き、宮私幼PTA連合会へのご協力ご支援を会員の皆様にお願ひ申し上げます。

お知らせ

平成二十六年度行事予定

平成二十六年度
宮私幼PTA総会

期日 平成二十六年六月（百）月
会場 仙台市民会館小ホール

期日 平成二十六年六月十八日（水）
会場 東京エレクトロンホール宮城

宮私幼教育振興大会並びに
宮私幼PTA研修大会

期日 平成二十六年六月十八日（水）
会場 東京エレクトロンホール宮城

宮私幼PTA
親睦バレーボール大会

期日 平成二十六年十月二十日（火）
会場 グランディ21

第三十八回親善バレーボール大会に

参加して

尾形純子

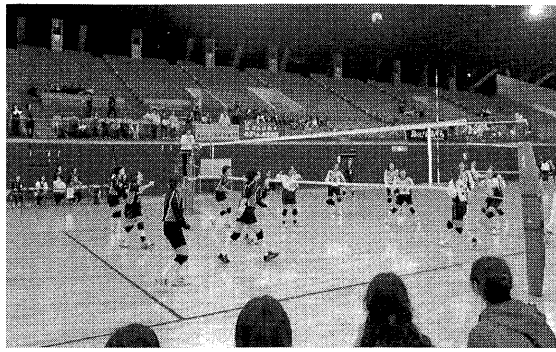
多賀城高崎幼稚園 (P)



去る十月二十二日、セキスイハイムスーパーアリーナにおいて、第三十八回宮私幼PTA親善バレーボール大会が開催されました。県内各地より、七十チームもの参加の下、とても盛大な大会となりました。

私は今回、選手としてこの大会に参加いたしました。三度目の参加となりますが、震災の影響で、開催自体が見送られた年の事も考えます。とても幸せな事と感じます。そして、高崎幼稚園バレー部としては、念願の初優勝をすることができ、仲間と共に素晴らしい経験をさせて頂きました。

今日大会の種目、八人制バレーボールは、バレーボールの盛んな宮城県独自の競技だそうです。幼稚園のお母さん達の交流の場の一つとして、初心者でも十分に楽しめるルールとなつています。私達のチームも、初心者も経験豊富なお母さんも、皆一緒にバレーボールを楽しんでいます。どのチームも、日頃の仕事や家事、育児との両立で、思うようには練習できないのが現状と思いますが、そのような中でも、試合に向けて、一致団結していく様子は、おそらくママさんバレーならではの光景なのだろうと思います。中学高校時代の部活動とは一味違った魅力があり、母親となった立場で考えますと、とても贅沢な貴重な経験です。



試合当日は、選手のみならず、PTA役員の方や先生方、沢山の方たちの応援で、会場を盛り上げて下さいました。どのチームも優勝を目指し、最後まで白球を追う姿は真剣そのものです。もちろん、勝敗はつきませんが、勝ち負けに関係なく、チームワーク良くバレーボールを楽しむ姿は、観て



いる方たちにも輝いて見えたのではないかと思います。

最後に、今大会の開催にあたり、ご尽力頂きました宮私幼連合会、並びに運営にご協力賜りました審判団、役員の皆様方に、心より感謝申し上げます。そして、大会の参加に際し、快く送り出してくれた各ご家族の皆様にも、この場を借りて改めて感謝の意を表したいと思えます。

第三十八回親善バレーボール大会

入賞チーム

優勝チーム	準優勝チーム
A 茂庭幼	みやぎ幼
B めるへの森幼	もみじが丘幼
C 南光紫陽幼	利府おおぞら幼
D 袋原幼	こどもの国幼
E 多賀城高崎幼	しげる幼
F わかくさ幼	くり幼

知事陳情と

今後の課題

副会長 稲富 将 夫

新しい年を迎え会員の皆様には、益々ご健勝にお過ごしのことと存じます。東日本大震災から三年目を迎えました。未だ痛ましい傷跡を残しつつも明るく希望を抱き、互いに堅い絆と夢を持ち、復旧復興の道に立ち向かって日々努力されていることと存じます。さて新年の一月十四日宮城県庁特別会議室に於いて、村井知事の新年表敬訪問と、平成二十五年度第二回目の平成二十六年度私立幼稚園に対する運営費補助金等の増額に関する陳情書を提出させて頂きました。当日は宮私幼連合会から村山理事長外副理事長、宮私幼P連合会から渥美会長、中島、横沢、稲富、霜山各副会長、寺沢常任委員長、佐々木常任委員の方々のご出席をいただきました。県私学文書課からは、千葉課長をはじめ関係職員の方々にも列席していただきました。陳情の要旨は、『国の私立幼稚園運営費補助金の順位を国の財源措置と県費かさ上げにより宮城県の各種統計順位や財政力に相応しい順位にまで引き上げるよう要望いたします。』本県においては幼児の約八割が私立幼稚園に在籍しており、子どもの心身の健全やかな成長のため質の高い教育を目指して各園が努力しているところであり、この重要な役割を鑑み、教育環境の改善及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、国が財源措置している地方交付税算入分とプラス国庫補助金と県費かさ上げ補助により、宮城県の各種統計順位や県財政力に相応しい順位に改善されることを要望したいことを切々と訴えました。知事は終始真剣に耳を傾け、幼児教育の必要性と現在おかれている宮城県私立幼稚園の実情に充分理解され、平成二十六年度の予算編成には最善の努力を傾注することを約束されました。知事陳情後、宮城県議会安藤議長にも陳情書をお渡しし、議会としても最善の努力をすることを約束されました。



表彰

おめでとうございます

岩岡明子先生

(大崎市慈園学園中新田幼稚園園長) 永年の学校教育の充実への貢献により、本年度の県教育功績者として、表彰されました。おめでとうございます。

地区活動報告

平成二十五年 度

石巻地区PTA研修大会

「笑いは最高の笑(エ)ネルギー」

ひばり幼稚園 (P)

畠山 粧



平成二十五年十一月七日、東松島市コミュニティセンターにて

ターに於いて、宮城県私立幼稚園連合会石巻地区教育振興大会並びに宮私幼PTA連石巻地区研修大会が開催されました。

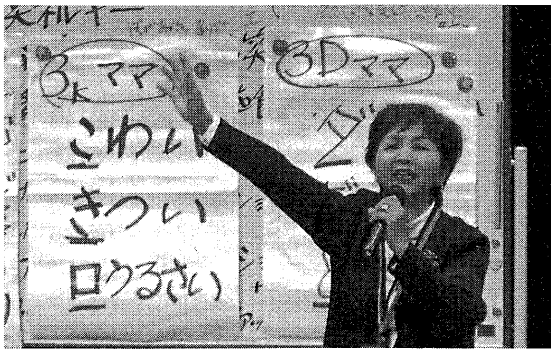
東日本大震災の影響で三年ぶりの開催となりましたが、スローガン「高めよう、絆を！子育ては、家庭と地域と幼稚園」を掲げ、来賓として、石巻市、東松島市の両市長様をお迎えし、保護者二百名の参加により盛会に行われました。教育振興大会では、地区会代表・地区P代表が、大会宣言文を読み上げ、「東日本大震災により被災した方々の一日も早い復旧復興を、さらには、子ども達の健全な成長のため、親と地域と幼稚園の絆を深め、それぞれの役割を果たすこと、その為に幼児教育に必要な予算措置がなされるよう」等が採択され、「宣言文」を要望書として両市長に手渡ししました。研修会では「笑いは最高の笑(エ)ネルギー」を親子でニコ・笑コ・

共育への演題で(有)カノン・プレス・サテライト秋子塾代表「笑いの花咲か講師」藤原明子先生から、ご講演をいただきました。

藤原先生は、講演の中で、何回もハッピースパイラルを力説され(笑って・褒めて・抱きしめて)を、参加者と一緒に、体の動きを入れ、唱和し、心から楽しくなりました。

また「ハイジや3Kママになっていませんか」と参加者に厳しい問いかけがあり、ハ(早く)イ(急いで)ジ(時間が無い)・3K(怖い・きつい・口うるさい)は子どもが萎縮し、マイナスになることを事例に交えて楽しくお話しされました。

子どもの接し方について、本当



に反省することばかりです。明日からというより、今日から態度を改めようと、自分自身の心に言い聞かせ実行しようと思います。

東日本大震災で被災されて、家族や友人を亡くされて悲しい思いをされている方に勇気づけるお話もありました。

それは、秋子先生の兄弟が震災でなく、病気で二人が亡くなりとても悲しかったそうです。その時、悲しんでいても帰ってはこない。「前に進もう、亡くなった人の分まで長生きしよう」と決意されたそうです。だから、今ある自分の命を大切に頑張っています。

「皆さん、今ある命を大切に、被災で亡くなった方の分まで生きましょう」と強いメッセージもあって、本当に感動しました。講演会に参加して、親の余裕のなさから、叱ることの多い日常生活、誰でも褒められると嬉しいものです。秋子先生の「褒めて育てよう」の大切さが理解できて本当に楽しく有意義な研修会でした。

研修会開催に当たってご尽力を頂いた関係皆様、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。



平成二十五年 度

仙南地区PTA研修大会

「子どもを伸ばす」

親子のコミュニケーション」

角田カトリック幼稚園 (P)

森 あづさ



平成二十五年、角田市農業改善センターにて、宮城県私立幼稚園PTA連合会仙南地区研修会が開催されました。

講師として、親業訓練インストラクターの土門比呂子先生をお迎えし、コミュニケーションの大切さを教えて頂きました。

講演では、会場の参加者同士が子どもの話に対する「聞き方」を実演して比べてみたり、土門先生との対話があったり、とても楽しく参加できました。

先生のお話の中で、例として「夜眠れない。」と、子どもから相談された時の親の返し方として、「そんな事言わないで寝なさい」や、「気にする事ないよ。」など、普段私自身もつい使ってしまう言葉は、実は、子どもとのコミュニケーションを阻む言い方だと聞き、とても驚きました。そういった間違ったコミュニケーションをする事により、子どもは親に心を閉ざすようになるそうです。

子どもとのコミュニケーションにおいて、大切な事は二つあるそうです。子どもの目を見て「うん



うん」「それで？」などと聞いてあげる『受動的』。相手の言った事を繰り返して、「悲しかったね」「よかったね」などと話を汲む『能動的』。その二つを使って子どもの話や相談を聞く事により親に認めてもらえたと子どもは安心して前に進めるのだそうです。そうしていき事により、悩みや問題を自分で整理し考え、そして解決していけるようになるそうです。

私は今まで子どもの話を聞いていたつもりだったのですが、この講演を聞いて、「受動的」「能動的」に聞けていなかったと反省しました。この二つを使い、今後子どもと楽しく会話していきたいと思えます。

研修会開催にあたってご尽力頂いた皆様、とても勉強になる講演をして頂いた土門先生に、この場をお借りして深く感謝と御礼を申し上げます。

会員のひろば

勉強道具はどこにでもあるよ

中新田幼稚園 (P)

佐藤 嘉一



「やったー！優勝だあ！平成二十五年の我が家は、東北楽天ゴールデン

イーグルス一色でした。球団創設二年目に野球観戦をした試合で、楽天がサヨナラ勝利を取めたその瞬間から野球経験のない私が楽天ファンとなっていたのです。野球のルールも知らない妻と子どもを連れての野球観戦。今ではルールも分かり応援歌もまあまあ分かるようになりました。その甲斐あってか、我が家の年長の息子はいつの間にか背番号を見て数字を覚え、ひらがなも満足でないのに選手の名前を見て漢字も若干覚えるようになり、これはすばらしい勉強道具だとその時思いました。ちなみに自宅の電話番号も背番号で覚えしました。

今の子も達は、家に帰ればテレビゲームなど家の中の遊びが中心の子どもの多いように感じますが、我が家の息子は、幼稚園から帰ってくるなり、毎日のように「ばあちゃん」と外で野球をして元気に動きまわっています。自分の目で見て、体で覚えるということが自然と身につけているようです。これからもあっちこちに、ころがっているささいなものを勉強道具にしていろいろと学んで欲しいものです。

愛を伝えよう

成田中央幼稚園 (P)

阿部 幸子



日々の育児や仕事に追われ、時に大人気な子ども達

を怒ってしまっている子ども達の寝顔を見て反省：そんな日々を過ごす中、それでも子ども達に対しては「大好きだよ」「ママはすごく幸せだよ」といつも言葉にして抱きしめていました。そしてその気持ちは子ども達に伝わっていると思っていました。そんな中、先日テレビ番組で乙武洋匡氏が「子どもは親になつた事がなければ親の揺るぎない愛は言葉にしなきゃ伝わらない」(少し言い回しは違うかも知れませんが)と語っていたのを聞いて、年中の娘に聞いてみました。「ママの愛は伝わっている？」「伝わっているよ」と軽い返事。よしよしと思いつつ同じく二年生の息子に聞いてみました。「伝わっているよ...でも怒った時は僕のこと嫌いなんじゃないかって思う事もあるかな」との返事。衝撃的でした。なにがあっても愛しているということは伝わっていると思っていたのにそうではなかった。そう思ったら、もっともつと子ども達に愛している気持ちを表現しようと思えました。子ども達と話し、抱きしめる事、今しかないこの時に私達の揺るぎない愛を伝えていきたいと思いました。

親善バレーボール大会を終えて

さいわい幼稚園 (P)

江戸 千恵子



平成二十五年十月十二日、利府のグランディ21に於

いて、宮城県私立幼稚園PTA連合会の一大イベントの「第三十八回親善バレーボール大会」が県内七十の幼稚園が集結して盛大に開催されました。普段、家事や仕事にと生活に追われているお母さん方もコートの中では、大きな声と機敏に動き回る立派なバレーボールの選手です。サーブ、レシーブ、アタック一つ一つに一喜一憂し、勝負にこだわりました。輝いていました。平日ともあって、幾つかの幼稚園では、園児も応援に駆け付けて熱い応援をしていました。各ブロックの決勝ともなると、手に汗握る熱戦で私達役員もくまなく見入っていました。

以前、バレーボールをやっているお母さんに家事とバレーボールで大変ではないかと聞いたことがあります。すると、自分の好きなことをやっているの、楽しいし、家族も協力してくれるので、にっこり笑顔で答えてくれました。大会に向けて運営の役員の皆様並びに審判の方々、不慣れな私たちにご指導をありがとうございました。

成長

遠山幼稚園 (P)

鈴木 美帆



二歳上の兄がいる娘は、未就園児教室や兄の送り迎え、行事などで度々園に行くことが多い、大好きな場所でした。

そんな娘が入園したのは震災の年で余震もまだ多く年少から入園させるのは不安でしたが、親の心配をよそに笑顔の絶えない毎日を送っていました。ところが年中になると、数ヶ月間毎朝、園につくと私から離れずぐずるようになりました。原因は今でもわかりませんが、兄の卒園やクラスメートが増えたことによる不安だったのかも知れません。大きな行事の後に「自家中毒」になったりとデリケートな面も見られました。

年長に上がってからはぐずることもなくなり、園生活最後の行事を一つ一つ精一杯張り、楽しんでいる姿が見られ、成長したなあと感じる事が多くなりました。園での出来事を目まぐるしく表情を変えながら話をする娘を見てみると、とても充実した日々を送っているのだと思います。様々な経験の場を与えて下さって先生方に深く感謝致します。きつと娘も園で学んだことを小学校でも活かしてくれることと思います。

あとがき

卒園、修了の春が近づき、日増しに暖かさを感じるようになってまいりました。卒園を迎えるご家庭では、小学校入学の準備に余念がないことでしょうか。この一年を振り返ると、やはり、楽天イーグルスの日本一がとてとても印象深い出来事でした。震災から早三年が過ぎようとする中、進まぬ復興に暗くなりながら、大きな希望の光を灯してくれました。会員の皆様にとっても、忘れ得ぬ一年となったのではないのでしょうか。おかげさまで宮私幼PTAだより第八十三号をお届けすることになりました。本号に快くご寄稿いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。最後に、会員の皆様のPTA活動へのご理解、ご協力に深く感謝し、あとがきとさせていただきます。(広報部長)

平成二十五年度編集委員

- 副会長 稲富 将夫(実本はなまき)
- 副会長 霜山加奈子(岩沼さくらP)
- 事務局長 小野 暢彦(清 水 T)
- 事務局長 菅原 彰(すがわらT)
- 広報部長 佐々木拓真(三ツルワイルド)
- 広報部長 水野 郁子(岩沼さくらT)
- 広報部長 伊藤 美雪(岩沼さくらP)
- 広報部長 菅松 周恵(法山寺P)